

第1チャレンジ実験課題

鉄、銅、アルミニウムなどの
金属の比熱を測ってみよう

2種類以上の金属について測定し、その結果から、金属の種類と比熱の関係を考察しましょう。測定の際には、断熱の方法を工夫してください。

以下の各注意をよく読んで実験レポートを作成し提出して下さい。

実験を始める前に

- 実験は安全面に十分に注意し事故のないように行ってください。
- 参加者が自主的に実験を行うことを考えて、課題を出しています。
- 実験は、基本的には1人で行ってください。
ただし、共同実験者(1名)と行ってかまいません。共同実験者がいても評価が低くなるわけではありません。
- 共同実験者とは実験の立案から測定まですべてを一緒に行った人です。
助言してくれた人や実験を単に手伝ってくれた人などは共同実験者ではありません。これらの人の名前には実験レポートの謝辞の欄に書いてください。
- 実験はどこで行ってもかまいませんが、学校など公共の場所で行う場合には、必ず先生など管理する人の許可を得てから行ってください。
- 学校の先生などに助言してもらってもかまいません。

実験レポートの書き方

- 応募者1人について実験レポート1通を作成すること。
- 共同実験の場合、実験データ以外の部分で文章や図表などのコピー&ペーストなどを行ってはいけません。
共同実験者は、装置やデータを共有することはできますが、実験レポートは必ず個別に作成してください。共同実験者と同じ内容の部分が多い実験レポートは、両方の実験レポートがともに最低評価や失格になる場合があります。
- 実験レポートはA4版用紙で片面のみを使用し、縦向き・横書きで作成してください。
本文、表、図などはパソコンで作成してもかまいません。ただし、グラフは原則としてグラフ用紙に手書きしてください。
- レポートが完成したら、レポート全体の要約(要旨)をA4版用紙に400字程度で書いてください。(感想ではありません。内容の要約です。)

実験レポートの項目とその内容

実験レポートは、以下(1)～(7)の項目に分けて作成してください。

- (1) 実験の目的
はじめに何を目的とした実験なのかを書きます。自分なりの視点や独創性がどこにあるのかを明確に書きましょう。
- (2) 実験手法
実験の原理、装置や計測機器の説明、測定方法や実験条件などを、実験装置の模式図や写真などを活用して詳しく書きます。他の人がこれを読んで、実験を再現するために必要な情報をすべて含めましょう。
- (3) 実験結果
結論を導くのに必要な測定データなどを表やグラフを使って分かりやすく示します。それらから言えること(実験結果)を書きましょう。計算の過程が分かるように示し、実験データの不確かさ(精度、有効数字)についても考えましょう。
- (4) 考察
実験結果を基にして自分の解釈を書きます。実験結果が「理科年表」などに掲載している値と異なっている場合、何が原因で異なった値になったのかを考えましょう。
- (5) 結論
実験の目的に照らし合わせ、何が分かったかを簡潔に書きます。
- (6) 参考資料
実験の立案・実施から実験レポート作成にわたり、参考にした書籍や論文、Webページなどを、番号を付けてすべて記載します。実験レポートの中で引用するときは、その部分に番号を付けます。
※参考資料から引用したものを、自分の考えたことのように書いてはいけません。
- (7) 謝辞
共同実験者以外で、実験に協力してくれた人がいる場合は、その人の氏名と協力してくれた内容とともに感謝の言葉を書きます。

実験レポートを評価するときの主な観点

- 「実験レポートの項目とその内容」に沿って、各項目が適切に書かれているか。
- 実験装置、測定方法やデータ解析などで工夫や独自性がみられるか。
高価な装置や材料を使ったものが高い評価になるとは限りません。

実験レポートの提出方法

提出期限 2020年6月15日(月)消印有効
提出先 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学内 物理オリンピック日本委員会 宛

提出前に、以下の(1)～(7)に注意確認してください。特に(1)、(2)が守られていないと、実験レポートの受付が出来なくなります。

(1) 実験レポートの提出にはチャレンジ番号が必要です。事前に、参加申し込みをしてチャレンジ番号を取得してください。

参加申込締切 郵送：2020年5月18日(月)必着
Web：2020年5月31日(日)24:00まで

※第1チャレンジの参加費は2,000円です。

- (2) 表紙は物理チャレンジのホームページからダウンロードして、「記入の注意」を参考に必要事項を記入してください。
- (3) 提出書類は、表紙を一番上にして、次に要約、実験レポートの順に縦向きに重ね、左上隅を綴じてください。
- (4) 提出書類を入れた封筒にも、住所・氏名を必ず明記してください。
- (5) 提出された書類は返却しません。必要な場合はコピーを取っておいてください。
- (6) 送付記録を残したい場合は、特定記録郵便・簡易書留郵便・宅配メール便などを利用してください。
- (7) 優秀な実験レポートは、全部もしくは一部を、JPhO News Letterやホームページなどで公開することがあります。

第1チャレンジ理論問題コンテストについて

理論問題コンテスト(2020年7月12日(日))は、マークシート方式で行います。出題される内容は高等学校の物理程度です。
理論問題コンテストは、参考図書(教科書、参考書、問題集、ノート、専門書)を使用することができます。すべての電子機器は使用禁止です。(会場で配布される電卓を除く)

第2チャレンジ(全国大会)への参加

第1チャレンジ実験課題のレポートの評価と理論問題コンテストの結果を総合し、優秀者約100名に、2020年夏に開催される第2チャレンジの参加資格が与えられます。なお、2020年度の第2チャレンジ参加は有料(5,000円)です。

先生方へのご案内

高校の先生方も第2チャレンジ2日目、3日目(8月20日、21日)に行われる参加生徒向けの問題解説会に参加できます。参加費は無料ですが、会場への移動や宿泊に関わる手配・費用等は自己負担となります。
詳細はホームページおよび募集要項でご確認ください。

国際物理オリンピック日本代表候補者

第2チャレンジ成績優秀者の中から、2021年の夏に開催される「国際物理オリンピック」日本代表の候補者を選出します。ただし、候補者となるには国際物理オリンピックの規定により、2021年6月30日現在、満20歳未満、かつ、大学等の高等教育機関に在学していないことが条件です。外国籍の方の場合、上記の条件に加え、少なくとも2020年4月から2021年6月まで継続して日本国内の学校に在籍することが条件です。

個人情報保護の取り扱いについて

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会(以下、当委員会という)は、個人情報保護法を遵守し、当委員会が実施する事業等へ提供された個人情報を適切に管理します。提供された個人情報は、次のように取り扱います。参加申込される方およびその保護者は、以下の内容について同意させていただきます。

1. 個人情報の収集・使用について
当委員会が事業を実施するために必要な個人情報を収集します。個人情報の提供は任意ではありますが、必要な情報が提供されない場合は、事業実施・参加に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。また、事業において記録・撮影された写真等は、当委員会に登録され、当委員会事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、この事業に関連する各種案内や当委員会が実施する科学技術・理解増進活動及び科学技術の普及・啓発活動や事業推進のための調査・研究に利用させていただきます。
2. 個人情報の第三者への提供・預託について
個人情報は、法令等により開示を求められた場合、当委員会事業を実施するために協力団体や業務委託先に提供する場合を除き、本人の同意なく第三者へ提供することはありません。当委員会は、事業の目的の達成に必要な範囲内で業務委託を行います。この場合の委託先は、個人情報に関し十分な保護水準を満たしている者を選定し、当委員会が適切な監督の下、厳重な管理を実施し、他への再委託は禁止します。当委員会では「物理チャレンジ」の参加申込受付から結果通知までの業務の一部を科学オリンピック共通事務局に業務委託しております。また、提供された個人情報は、第1チャレンジ会場や業務遂行上必要な関係先に対して、運営に必要な情報として提供しております。
3. 個人情報の開示について
個人情報提供者本人(本人が未成年の場合は保護者を含む)から開示請求があった場合、本人確認(本人が未成年の場合は保護者を含む)を行ったうえで速やかに開示します。また、訂正、削除等の請求があった場合も速やかに対応します。
4. 個人情報の管理について
個人情報は、漏洩、紛失等がおこらないよう、個人情報保護統括管理責任者(理事長)の統括の下、細心の注意を払い取り扱います。
5. 問い合わせ先
特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会 事務局
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内
e-mail: info@pho.jp